

オプトアウト

研究課題名	ペムプロリズマブの従来投与レジメンと倍量投与レジメンにおける臨床効果の比較：多機関共同後方視的観察研究
研究実施機関名および研究責任者 (所属科、職名等)	さいたま赤十字病院 薬剤部 係長 後藤孝之
研究代表施設 および代表研究者	慶應義塾大学医学部 病院薬剤学教室 教授 大谷壽一
研究期間	倫理委員会承認後から2027年3月31日まで
研究の目的と意義	根治切除不能な尿路上皮がん患者さんに対するペムプロリズマブ療法に関して、3週間毎投与した方と3週間毎投与から途中で6週間毎投与した方と最初から6週間毎投与した方の間に、有効性と安全性に差があるかを調査を行います。
本研究の対象となる方	2017年9月1日～2025年3月31日の期間にさいたま赤十字病院において、根治切除不能な尿路上皮がんの治療として、ペムプロリズマブを投与された18歳以上の患者さん
提供していただく情報	年齢（生年月日）、性別、疾患名、レジメン名、進行病期（ステージ）、治療ライン、CPS、TPS、PS有害事象（事象名、発現日、症状、重症度） 臨床検査（総蛋白、クレアチニン、AST、ALT、FT3、FT4、TSH、ACTH、コルチゾール）、画像検査（体部CT、MRI、胸部X線）
研究内容	多機関共同後方視的観察研究
個人情報の取り扱い	研究実施に係る試料・情報を取り扱う際は、あらかじめ研究対象者の個人情報とは無関係の番号を付して加工して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮します。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	<b>【研究担当者】</b> 所属：さいたま赤十字病院 薬剤部 氏名：後藤孝之 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話：048-852-1111